



## 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月11日

上場取引所 東 大

上場会社名 ダイソー株式会社

コード番号 4046 URL <http://www.daiso.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 佐藤 存

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 上出 修

TEL 06-6110-1560

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日

平成23年12月9日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	43,642	11.8	2,433	13.6	2,428	7.8	1,371	7.2
23年3月期第2四半期	39,041	13.4	2,142	137.7	2,252	130.1	1,278	192.5

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 1,152百万円 (186.1%) 23年3月期第2四半期 402百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	13.01	12.65
23年3月期第2四半期	11.80	10.41

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
24年3月期第2四半期	66,342		34,331		51.6
23年3月期	65,214		33,601		51.4

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 34,261百万円 23年3月期 33,530百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	3.00	—	4.00	7.00
24年3月期	—	3.50	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	3.50	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	85,000	5.3	5,100	14.1	5,300	14.7	2,700	11.3	25.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	111,771,671 株	23年3月期	111,771,671 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	6,367,697 株	23年3月期	6,366,485 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	105,404,812 株	23年3月期2Q	108,412,240 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災で多大な被害を受けたサプライチェーンの復旧にともない生産活動が持ち直しつつある一方で、欧州の債務危機と米国の景気低迷による円高の急激な進行、アジアを中心とする新興国の成長鈍化懸念、依然として続くデフレ基調および原燃料価格の高騰などを背景に、今後の見通しも厳しい状況が続いております。

このような環境下、当社グループは、中期経営計画『DYNAMIC ACTION-13』の初年度を迎え、その基本方針であるコア事業の強化および次世代事業の育成による事業基盤の拡充、新規事業の創出、グローバル戦略およびコーポレート戦略の推進により、新たな成長基盤の構築に取り組んでおります。

基礎化学品では、クロール・アルカリは震災対応による緊急増産の実施と電解メーカーの撤退により販売数量が増加いたしました。また、エピクロルヒドリンは原燃料価格が高騰したものの、震災により影響を受けたサプライチェーンの維持・継続のために、製品供給責任を果たすことを最優先課題として取り組み、販売数量増につながった結果、売上高が増加いたしました。

機能化学品では、アリルエーテル類はシランカップリング剤用途を中心に欧米および中国で販売数量が増加いたしました。エピクロルヒドリンゴムは、自動車用途では欧州向けが順調に推移しましたが、国内向けが震災の影響により低調に推移するとともに、OA機器用途も低調に推移しましたので、売上高が横這いとなりました。液体クロマトグラフィー用シリカゲルは、医薬品精製用途向けとして欧州を中心に輸出が好調に推移したため、売上高が増加いたしました。医薬品原薬・中間体は、抗血栓薬中間体、抗菌剤中間体および診断薬用原料の売上が寄与し、売上高が増加いたしました。一方、ダップ樹脂については、ポリマーはUVインキ用途向けおよび成形材料用途向けが国内外ともに増加しましたが、モノマーは顧客の在庫調整の影響により伸び悩み、売上高が減少いたしました。また、電極は震災の影響による鉄鋼業界の低迷により、売上高が減少いたしました。カラーレジストも液晶ディスプレイパネル価格低下の影響を受け、売上高が減少いたしました。

住宅設備ほかでは、化粧板などのダップ加工材については震災の影響により低調に終わりましたが、住宅関連製品においては節電関連商品の販売が好調に推移したため、売上高が大幅に増加いたしました。エンジニアリング部門は、設備工事の完成が続き、売上高が増加いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、436億4千2百万円と前年同期比11.8%増加いたしました。利益面においては、生産・販売活動の拡大により、営業利益は、24億3千3百万円と前年同期比13.6%の増加、経常利益は、24億2千8百万円と前年同期比7.8%の増加、四半期純利益は、13億7千1百万円と前年同期比7.2%の増加となりました。なお、売上高、営業利益、経常利益および四半期純利益とも過去最高となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて、2.6%増加し385億8千8百万円となりました。これは、主として受取手形及び売掛金が18億6千6百万円増加、商品及び製品が11億6千3百万円増加、有価証券（国庫短期証券）が15億9千9百万円減少したことによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて、0.6%増加し277億5千4百万円となりました。これは、主として有形固定資産が3億7千8百万円増加、無形固定資産が1億3千2百万円減少したことによります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて、1.7%増加し663億4千2百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて、8.7%増加し286億5千5百万円となりました。これは、主として、短期借入金が11億円増加、1年内償還予定の新株予約権付社債が14億6千3百万円増加したことによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて、36.0%減少し33億5千5百万円となりました。これは、主として新株予約権付社債が14億6千3百万円減少、長期借入金が4億4千万円減少したことによります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて、1.3%増加し320億1千万円となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて、2.2%増加し343億3千1百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて、18億5千1百万円減少し39億1千3百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、1億3千9百万円の収入となりました。これは主に、増加要因として税金等調整前四半期純利益が22億9千6百万円、減価償却費が13億5千8百万円となり、一方、減少要因として売上債権が18億6千6百万円増加、たな卸資産が10億7千4百万円増加したことによります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、14億1千7百万円の支出となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出13億6百万円によるものです。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、4億6千6百万円の支出となりました。これは主に、短期借入れによる収入132億8千万円、短期借入金の返済による支出121億8千万円、長期借入金の返済による支出11億8千万円によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の業績予想につきましては、平成23年5月13日発表の業績予想に変更はありません。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,465	3,213
受取手形及び売掛金	23,997	25,864
有価証券	2,299	699
商品及び製品	3,653	4,816
仕掛品	953	862
原材料及び貯蔵品	1,627	1,629
繰延税金資産	1,162	1,098
その他	458	408
貸倒引当金	3	4
流動資産合計	37,613	38,588
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	6,044	5,427
その他(純額)	9,243	10,238
有形固定資産合計	15,287	15,666
無形固定資産		
のれん	283	269
その他	323	204
無形固定資産合計	606	474
投資その他の資産		
投資有価証券	10,126	9,842
その他	1,591	1,784
貸倒引当金	11	12
投資その他の資産合計	11,706	11,614
固定資産合計	27,600	27,754
資産合計	65,214	66,342

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,178	14,340
短期借入金	6,630	7,730
1年内償還予定の新株予約権付社債	-	1,463
1年内返済予定の長期借入金	1,695	955
未払法人税等	901	942
その他	2,965	3,224
流動負債合計	26,371	28,655
固定負債		
新株予約権付社債	1,463	-
長期借入金	955	515
退職給付引当金	2,307	2,309
役員退職慰労引当金	511	526
その他	4	4
固定負債合計	5,241	3,355
負債合計	31,612	32,010
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,882	10,882
資本剰余金	9,394	9,394
利益剰余金	13,773	14,723
自己株式	1,647	1,648
株主資本合計	32,402	33,351
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,131	910
繰延ヘッジ損益	2	0
その他の包括利益累計額合計	1,128	910
新株予約権	70	70
純資産合計	33,601	34,331
負債純資産合計	65,214	66,342

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	39,041	43,642
売上原価	32,054	36,141
売上総利益	6,987	7,501
販売費及び一般管理費	4,845	5,067
営業利益	2,142	2,433
営業外収益		
受取利息	9	6
受取配当金	136	147
その他	112	41
営業外収益合計	259	195
営業外費用		
支払利息	39	41
為替差損	96	140
その他	12	19
営業外費用合計	148	200
経常利益	2,252	2,428
特別利益		
ゴルフ会員権売却益	5	-
貸倒引当金戻入額	7	-
新株予約権戻入益	1	0
特別利益合計	15	0
特別損失		
固定資産除却損	118	130
投資有価証券評価損	45	-
その他	5	2
特別損失合計	170	133
税金等調整前四半期純利益	2,097	2,296
法人税、住民税及び事業税	762	873
法人税等調整額	56	51
法人税等合計	819	924
四半期純利益	1,278	1,371



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
四半期純利益	1,278	1,371
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	877	220
繰延ヘッジ損益	1	2
その他の包括利益合計	876	218
四半期包括利益	402	1,152
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	402	1,152
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,097	2,296
減価償却費	1,495	1,358
のれん償却額	9	13
貸倒引当金の増減額（は減少）	7	1
未払賞与の増減額（は減少）	4	0
退職給付引当金の増減額（は減少）	25	2
役員退職慰労引当金の増減額（は減少）	170	15
受取利息及び受取配当金	146	154
支払利息	39	41
為替差損益（は益）	66	107
持分法による投資損益（は益）	2	9
固定資産売却損益（は益）	1	-
固定資産除却損	3	6
有価証券及び投資有価証券評価損益（は益）	45	-
ゴルフ会員権売却損益（は益）	5	-
売上債権の増減額（は増加）	1,210	1,866
たな卸資産の増減額（は増加）	191	1,074
未払消費税等の増減額（は減少）	76	110
仕入債務の増減額（は減少）	691	162
その他の資産の増減額（は増加）	139	17
その他の負債の増減額（は減少）	172	35
その他	9	2
小計	2,582	861
利息及び配当金の受取額	146	154
利息の支払額	43	41
法人税等の支払額	778	833
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,906	139

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	400	-
定期預金の払戻による収入	450	-
有形固定資産の取得による支出	444	1,306
有形固定資産の売却による収入	3	2
無形固定資産の取得による支出	43	0
投資有価証券の取得による支出	85	99
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	59	-
貸付けによる支出	-	16
貸付金の回収による収入	19	25
その他の支出	11	120
その他の収入	19	96
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>551</b>	<b>1,417</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	5,230	13,280
短期借入金の返済による支出	5,680	12,180
長期借入金の返済による支出	610	1,180
自己株式の売却による収入	0	0
自己株式の取得による支出	1	0
配当金の支払額	325	386
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>1,386</b>	<b>466</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	65	107
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	96	1,851
現金及び現金同等物の期首残高	6,522	5,764
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,425	3,913

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

① 報告セグメントの概要

当社は、製品・サービス別のセグメントから構成されており、「基礎化学品」、「機能化学品」、「住宅設備ほか」の3つを報告セグメントとしています。

② 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日）

(単位：百万円)

	基礎化学品	機能化学品	住宅設備ほか	合計	調整額 (注1)	四半期連結損 益計算書計上 額 (注2)
売上高						
(1)外部顧客への 売上高	18,584	14,607	5,848	39,041	—	39,041
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	1	222	224	△224	—
計	18,584	14,609	6,071	39,265	△224	39,041
セグメント利益	1,341	1,308	40	2,691	△549	2,142

(注) 1 セグメント利益の調整額△549百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎研究開発等および管理部門の一部に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

・各セグメントに属する主要製品・サービス

セグメント	主要製品・サービス
基礎化学品	かせいソーダ、塩酸、液化塩素、塩素ガス、次亜塩素酸ソーダ、亜塩素酸ソーダ、塩素酸ソーダ、かせいカリ、水素ガス、エピクロルヒドリン、アリルクロライド、ジクロロプロペン、塗料原料、接着剤原料等
機能化学品	アリルエーテル類、エピクロルヒドリンゴム、ダップ樹脂、省エネタイヤ用改質剤、液体クロマトグラフィー用シリカゲル、光学活性体、医薬品原薬・中間体、酸化イリジウム電極、レンズ材料、感光性樹脂、レジストインキ、蛍光管のリサイクル等
住宅設備ほか	ダップ加工材、住宅関連製品、健康食品、化学薬品の輸送・貯蔵、化学プラント・環境保全設備建設等

当第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

(単位：百万円)

	基礎化学品	機能化学品	住宅設備ほか	合計	調整額 (注1)	四半期連結損 益計算書計上 額 (注2)
売上高						
(1)外部顧客への 売上高	20,738	14,304	8,598	43,642	—	43,642
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	11	1	281	293	△293	—
計	20,749	14,306	8,880	43,936	△293	43,642
セグメント利益	1,571	1,401	42	3,015	△581	2,433

(注) 1 セグメント利益の調整額△581百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎研究開発等および管理部門の一部に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

・各セグメントに属する主要製品・サービス

セグメント	主要製品・サービス
基礎化学品	かせいソーダ、塩酸、液化塩素、塩素ガス、次亜塩素酸ソーダ、亜塩素酸ソーダ、塩素酸ソーダ、かせいカリ、水素ガス、エピクロルヒドリン、アリルクロライド、ジクロロプロペン、塗料原料、接着剤原料等
機能化学品	アリルエーテル類、エピクロルヒドリンゴム、ダップ樹脂、省エネタイヤ用改質剤、液体クロマトグラフィー用シリカゲル、レンズ材料、感光性樹脂、カラーレジスト、電極、医薬品原薬・中間体、光学活性体、資源リサイクル等
住宅設備ほか	ダップ加工材、住宅関連製品、健康食品、化学薬品の輸送・貯蔵、化学プラント・環境保全設備建設等

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。